

ICT社会を支えるストレージプロダクト

Storage Products for ICT Society

巻頭言

安全でより豊かな生活の基盤を築くストレージプロダクト

Storage Products as Social Infrastructure for Safe and Comfortable Life

先般の東日本大震災では、揺れによる被害だけでなく、地震に誘発された津波による被害も甚大なものとなりました。人命や、家屋、田畑のほか、交通や通信、電力といった暮らしと経済活動のためのインフラなど様々な大切なものが奪われたなかで、役所などに保管されていた住民情報などのデータが失われたために、迅速な安否確認ができないという事態が発生しました。このような状況を経験し、今後更に進化していくICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) 社会でのデータ保存の重要性を再認識させられました。

人類によって生み出される情報は加速度的に増加しており、ストレージ装置の大容量化がますます必要とされています。クラウドコンピューティングの普及に伴って、携帯端末やパソコン(PC)に搭載されるストレージ装置と、サーバや大規模データセンターなどに使用されるストレージ装置の役割が大きく変化しようとしています。

このような市場のニーズに対応するため、東芝は、従来から扱ってきたモバイルHDD (ハードディスクドライブ) やエンタープライズ向け高速回転HDD、及び現行のDVDドライブに、いくつかの新しいカテゴリーの商品を加えました。

エンタープライズ向けHDDの技術とNAND技術を融合したエンタープライズ向けSSD (ソリッドステートドライブ)、及びサーバやストレージシステムの中で大容量データの蓄積を担うニアライン向け3.5型HDDの商品化により、クラウドコンピューティングの中で、従来の高速回転HDDとともに階層化ストレージシステムを構成するラインアップを確立させました。また、クラウド対応製品のほかに、暗号化機能、連続稼働性能、及び幅広い環境性能などを備えた高付加価値商品や応用商品のラインアップを拡充し、社会のニーズに応じています。

ODD (光ディスクドライブ) では、現行のDVDドライブのほかに、ブルーレイディスク^(注)対応ドライブをラインアップに加えたほか、次世代光ディスクの技術開発も進めています。また、部品の内製化やバリューエンジニアリングにより、コストパフォーマンスの高い商品を提供しています。

当社は、この特集で紹介する技術が、今後のICT社会において人々の安全でより豊かな生活の基盤を築く助けになることを目指しています。



錦織 弘信
NISHIKORI Hironobu

(注) Blu-ray DiscTM (ブルーレイディスク)、Blu-rayTM (ブルーレイ) は、ブルーレイディスクアソシエーションの商標。